

二次研究協議会の様子

【全体会】

各市町村ブロックのレポート発表を行いました。各ブロックが取り組んできた研究を交流することができました。

【分科会討議】

小学校・中学校・小規模校・アレルギー・救急処置の分科会に分かれて、共通の柱に沿った討議が行われました。

<保健室（小）①②>

- ・アレルギーの対応は、各校の実態に応じ研修を取り入れるなど、学校全体に周知した中で連携をとりながら進められていた。
- ・保健室登校や不登校傾向の児童の対応は、担外の先生方と連携し、チームで取り組むことが大切である。教職員への発信の仕方・全体へのつなげ方について今後も交流を深めていきたい。

<保健室（中）①②>

- ・新たに導入されたばかりの健康診断項目は、学校医や地教委にとっても扱いが難しく、今後も子どもにとって意義のあるものとなるよう取り組みを続ける必要がある。
- ・色覚検査については、廃止された理由を深く受け止め、色覚特性のある子どもたちが安心して学校生活を送れるよう色のバリアフリー化を進めていく必要がある。

<小規模校>

- ・小規模校は、農業や漁業、ホテル勤務の家の子どもが多く、両親ともに朝早くから夜遅くまで働いている家庭が多いため、孤食となってしまうたり、朝食を食べてこない子どもがいることから食の指導で改善を試みている。
- ・家から学校までの距離が遠く、バス通学やタクシー通学となり、体力低下や肥満傾向の子どもが多く、運動不足解消に取り組んでいる。

<救急処置①②>

- ・事例の交流の中で、受診病院情報交換ができた。
- ・緊急時の体制づくりには、年度末反省で、学校としての視点から根拠を持って提案し、認識してもらうことが大切である。
- ・受診させるか否かの判断に迷う時は、養護教諭としての根拠に基づいて判断することの大切さを認識できた。

<アレルギー>

- ・各市町村の実態交流を通して、アレルギー対応の中で課題と感じていることを共有するとともに、今後取り組んでいくときの参考になる情報を交換できた。
- ・重症アレルギー児童については、プライバシー保護の観点や保護者・本人の思いに十分留意した上で、教職員だけでなく、児童生徒や関係機関とも情報共有をして対応に当たることも考えていく必要があることがわかった。
- ・栄養教諭配置校は、給食のアレルギー対応を栄養教諭に頼ってしまっている部分もある。養護教諭として危機感を持ち、担任をはじめとする教員への働きかけ、代替食の確認などを日常的に行っていく必要がある。

【理論研修会】

演 題 「思春期における性同一性障害」

～性同一性障害についての理解と学校での対応について～

講 師 北海道文教大学 作業療法学科 教授 池田 官司 氏

性同一性障害とは・・・

性同一性障害とは、身体的性別とジェンダーアイデンティティー（心の性別）が一致していない状態で、成長するにつれ様々な性別違和感を自覚していく。

性同一性障害についての理解も少しずつ進み、性同一性障害は「病気」でも「障害」でもなく、その人のもつ「属性」の一つという考え方に変わってきています。また、性同一性障害者の性別の取り扱いの特例に関する法律もでき、一定の条件を満たせば、性別の変更を申し立てることができるようになりました。ただし、依然として偏見や差別の問題は、性同一性障害者たちを苦しめている現状があります。

学校現場でできること・すべきこと

自分が受け入れてもらえるのかを恐れてカミングアウトできる児童生徒は決して多くはない。実際、私たちが性別違和を訴える子どもたちに出会ったときの対応のコツも聞くことができました。

○まずは受け入れること

当事者は自分のアイデンティティーに疑念を持っている。それを晴らすには他者から承認を受けることが必要。

○現実的に対応する

持って生まれた身体的条件は変えようがない。これは、性別違和に限ったことではな

く、私たちも、みんなそうだ。もっと足が速ければ、もっと背が高ければ・・・など。
与えられた条件の中で、現実的な落としどころを見出していくことが肝要。

○未来のことを一緒に考える

- (例) ・進路指導が重要 (手術をするにもお金が必要)
- ・得意なこと、夢中になれることを探す
- ・人に迷惑をかけなければ、自分らしく生きていい

研修を通して、性同一性障害についての理解が少しずつは進んできたものの、まだまだ社会には偏見や差別もあり、性別違和を感じている子どもたちが大きな不安やマイナスの感情を抱えている実情があることを改めて感じました。実際私たちがどのように関わっていけばよいのか難しさも感じました。しかし、性同一性障害の方たちの思いを知り、自尊感情を育んでいけるような関わりを持つことが大切であるということを学ぶことができた有意義な研修となりました。